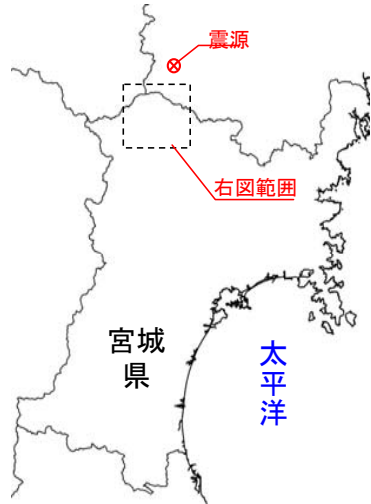
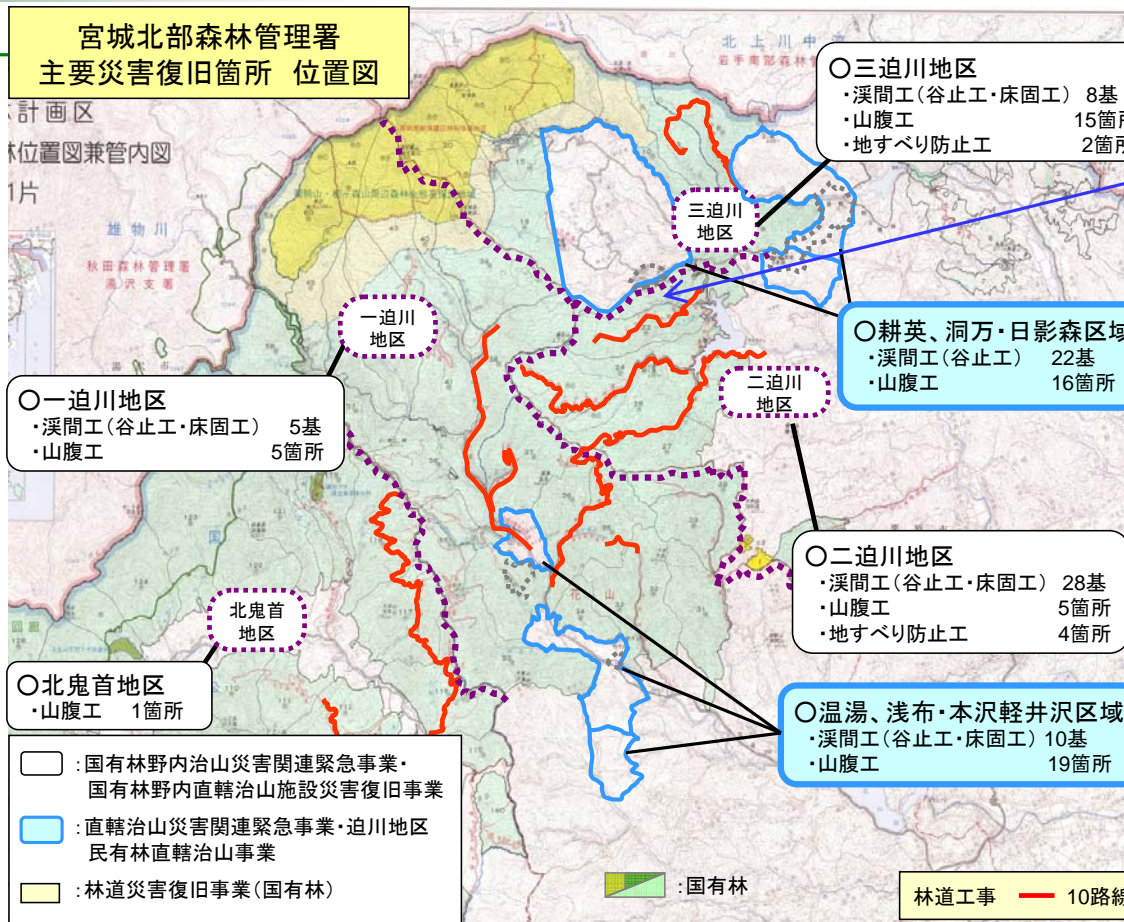


概要

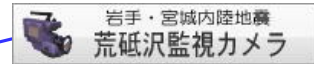
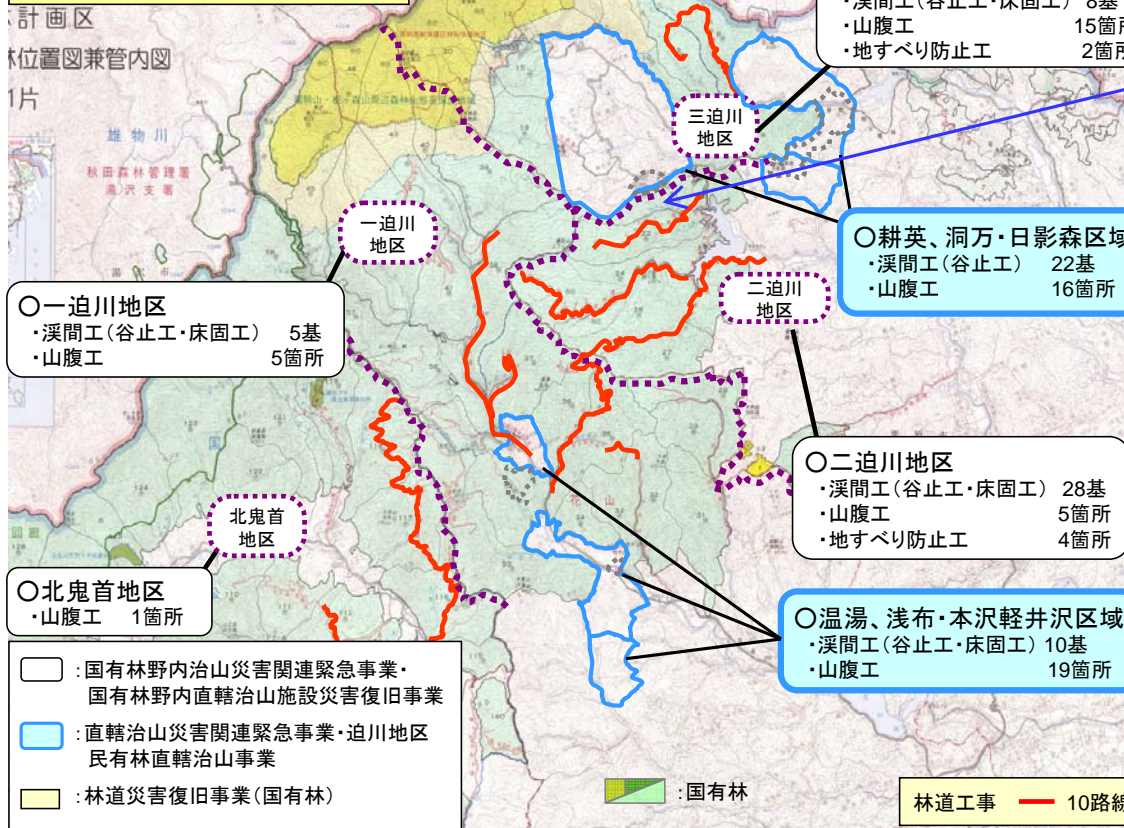
平成20年岩手・宮城内陸地震による被災箇所のうち、平成23年度末までに国有林治山事業で溪間工41基、山腹工26箇所、地すべり対策工6箇所、民有林直轄治山事業で溪間工32基、山腹工35箇所、林道災害復旧事業で10路線を整備しました。平成24年度は、前年度からの継続箇所を含め、国有林治山事業で5件、民有林治山事業で10件の工事をを行います。



岩手・宮城内陸地震の記録
2008年6月14日 午前8時43分頃発生
地震の規模 M7.2
最大震度 6強(宮城県栗原市、岩手県奥州市)
震源地 岩手県内陸南部
地震の深さ 約8km
山腹崩壊箇所 1,062箇所(宮城県内、H20東北森林管理局調べ)



宮城北部森林管理署
主要災害復旧箇所 位置図



荒砥沢地すべりに監視カメラを設置しています。東北森林管理局ホームページのトップページ左にある「岩手・宮城内陸地震荒砥沢監視カメラ」のバナーをクリックすると見ることができます。(http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/)



平成24年10月25日撮影

被災地の復旧状況（ヒアヒクラ沢）

本施行地は、栗原市栗駒の深山岳国有林に位置します。地震の影響で山腹斜面が約2.5haにわたり崩壊し、大量の土砂が溪流へ流れ下流域へ流出しました。崩壊の拡大防止と下流域の保全を図るため、平成21年6月に復旧工事に着手し、平成22年1月までに溪流対策として谷止工1基、崩壊地を森林に復旧させる対策として鋼製砕土留工、木柵工、植生工を施工しました。



10月6日NPO法人森林との共生を考える会との共催により、緑の募金助成事業の一環として、左の国有林治山事業施行地において植樹活動を行いました。

第3回 栗原市復興ふるさと植樹活動の様子（ヒアヒクラ沢）

3回目となる本活動には、一般参加者のほか、宮城県・栗原市・栗駒の自然を守る会・耕英地区振興協議会など約90名が参加し、森林の早期再生に向けて、フナやサクラなど200本を植樹しました。



平成24年10月撮影

平成24年度 工事施工箇所

復旧工事を実行中です

1 湯ノ倉上流【準備工】  
・測量、丁張などを行っています。



平成24年10月撮影

2 温湯 I (H24)【山腹工(落石防止ネット工)】  
・ワイヤーロープ設置中です。



平成24年10月撮影

3 浅布 I 小川原(H24)【山腹工(地山補強土工)】  
・削孔中です。



平成24年10月撮影

4 浅布 II 小川原(H24)【山腹工(地山補強土工)】  
・支圧板を設置中です。

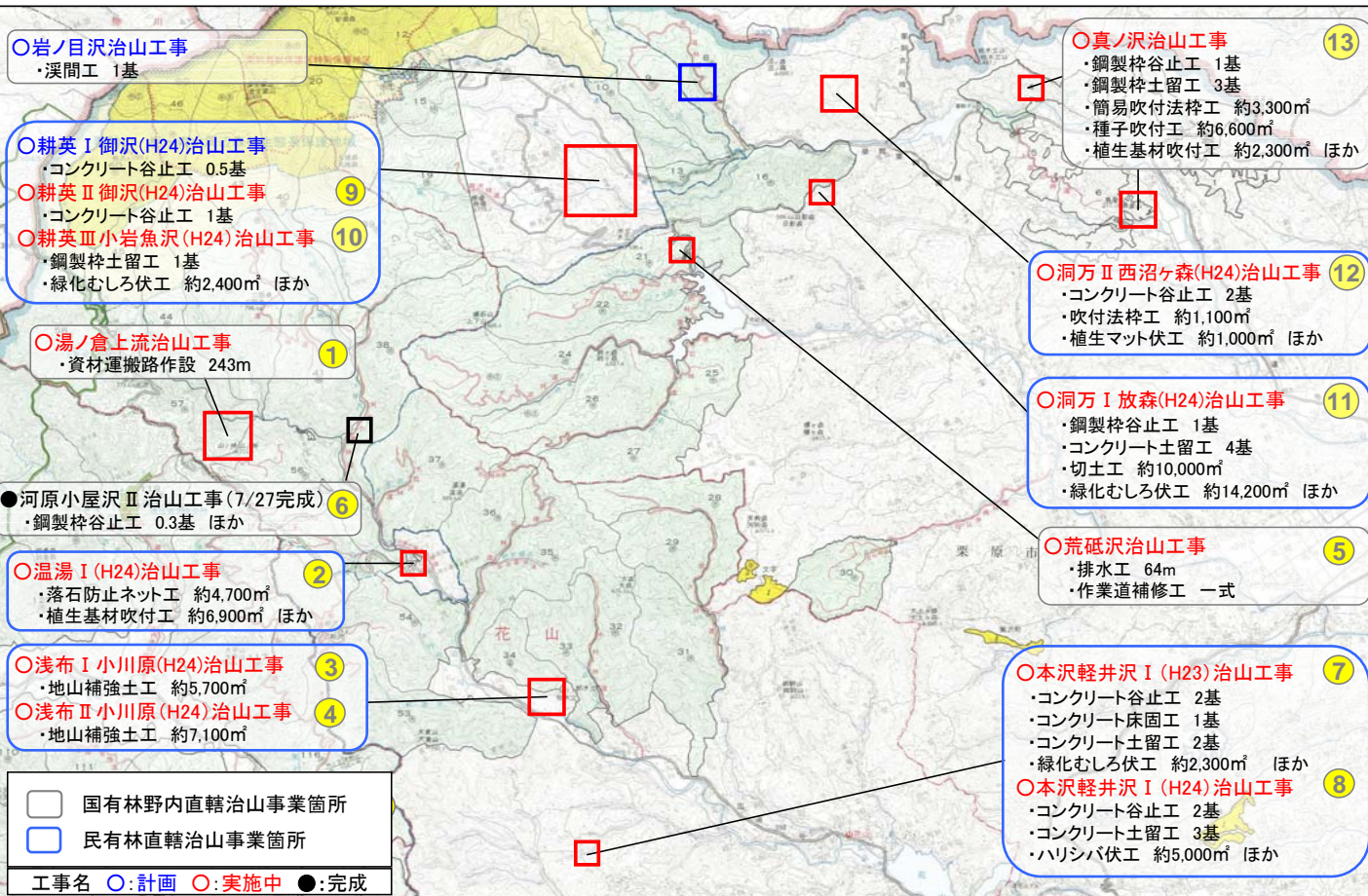


平成24年10月撮影

5 荒砥沢【準備工】  
・10/23に着手しました。



平成24年10月撮影



復旧工事を実行中です

9 耕英 II 御沢(H24)  
【溪間工(コンクリート谷止工)】  
・床掘中です。



平成24年10月撮影

10 耕英 III 小岩魚沢(H24)  
【山腹工(鋼製枠土留工)】  
・片面整形中です。



平成24年10月撮影

11 洞万 I 放森(H24)  
【山腹工(コンクリート土留工)】  
・床掘中です。



平成24年10月撮影

12 洞万 II 西沼ヶ森(H24)  
【山腹工(吹付法砕工)】  
・型枠を設置しています。



平成24年10月撮影

13 真ノ沢【仮設工】  
・資材搬入路の作設中です。



平成24年10月撮影

復旧工事が完成しました

6 河原小屋沢 II 【溪間工(鋼製枠谷止工)】



河原小屋沢では、地震により多数の山腹崩壊が発生し、溪流には大量の不安定土砂が堆積しています。この土砂を固定し、溪床の安定を図るため、谷止工の設置を進めています。

写真の箇所では、全延長72mの谷止工を施工しています。

平成24年度は約2/3が完成しました。

7 本沢軽井沢 I (H23)【溪間工(コンクリート谷止工)】



8 本沢軽井沢 I (H24)【山腹工(丸太筋工)】



12 洞万 II 西沼ヶ森(H24)【山腹工(吹付法砕工)】



13 真ノ沢【仮設工】

